

## 日本のとアメリカのエチケットの対比

“Comparison of Japanese and American Etiquette”

イザドラ・カーセック      Isadora Krsek

82-271 : Intermediate Japanese I

この作文では、依頼する時のエチケットについて書こうと思う。始めに日本について書く。日本では、依頼する時に、日本人はためらいがちに文を途中までしか言わないようだ。そして依頼をする時に、困っている状況だけを説明して、相手に依頼の内容を察してもらおうようだ。それに日本語では依頼表現には可能否定形がよく使われるようだ。アメリカの依頼のエチケットはちょっと違うと思う。まず、アメリカでは依頼する時に、無遠慮に話す。あまりためらいがちじゃない。第二にアメリカで依頼をする時に相手に依頼の内容をぜんぜん察してもらえない。じつは、アメリカではそれがぶさほううようだ。最後に、アメリカではあまり依頼表現には可能否定形が使われない。英語では、肯定形がよく使われると思う。この新しいことを習った後で、私の意見では、日本人はアメリカ人よりおとなしい

と思う。アメリカ人と違い、日本人の話し方はとてもていねいでおとなしいからだ。日本人には、アメリカ人の切り口は真っ直ぐすぎると思う。けつろんとして、一番大事な事はいつも違うことを分かることと考える。

## 日本のとアメリカの挨拶の習慣の対比

“Japanese and American Greeting Customs”

イザドラ・カーセック      Isadora Krsek

82-271 : Intermediate Japanese I

この作文では日本とアメリカの挨拶言葉と挨拶の習慣について書こうと思う。日本では挨拶をしたら、よく天気の話をするそうだ。そして、日本人は同じ日に二回目に会った人にはもう一度挨拶せずに会釈をするそうだ。でも日本では、エレベーターで一緒になった時など、知らない人には挨拶をぜんぜんしないそうだ。アメリカの挨拶習慣はちょっと違うと思う。まず、アメリカでは挨拶をしたら、滅多に天気を話をしない。アメリカ人はたいてい「お元気ですか。」とか「いかがですか。」など言うと思う。次にアメリカ人は同じ日に二度会った人には、よくもう一度挨拶せずに手をふったり、「こんにちは」と言ったりする。最後にアメリカでは、人はエレベーターで一緒になった時など、知らない人にはたいてい挨拶をする。でも住んでいる所によって違うと思う。例えば、アメリカの南部では、いつ

も皆に挨拶をする。でもアメリカの北部では、いつもじゃなくて時々知らない人に挨拶する。このユニットで習ったことから私の意見では、日本人はアメリカ人より人見知りをするから、日本の挨拶の習慣とアメリカの習慣は変だと思うそうだ。どちらも文化が違っているからだ。結論として違うことは悪くないと考える。